

論題: 現状維持の政策決定について

講演: 福田 慎一 (東京大学)

[要旨]

さまざまな政策決定はしばしば「現状維持」が選択されることが多い。本報告では、金融政策の決定を例にとって、その謎を解明する。分析のポイントは、政策当局が、経済構造に関して不確実性に直面していることである。不確実性によって誤った政策決定をすることを回避するために、政策当局は過度に現状維持の政策決定をすることが明らかにされる。モデルにもとづくシミュレーションは、現実の政策金利の動きをとらえる上で有益である。